

# 【開通1年後】日本海東北自動車道 あつみ温泉IC～鶴岡JCTが開通して

(平成24年3月24日開通)

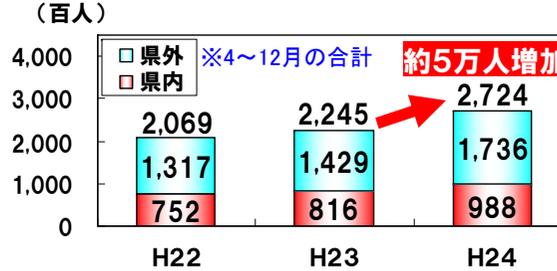


- ①あつみ温泉の観光客が大幅に増加
- ②温海地域からの救急搬送が円滑化
- ③国道7号由良坂の「登坂不能」リスクが軽減
- ④温海～鶴岡間の交通事故が減少

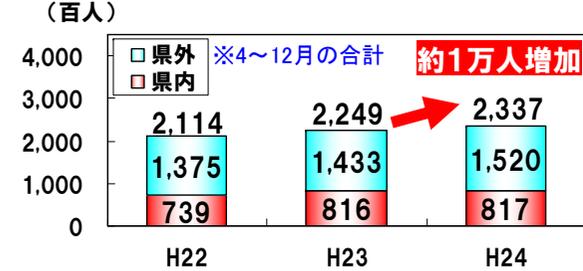
## ①あつみ温泉の観光客が大幅に増加 【観光活性化】

◆開通後「あつみ温泉」や道の駅「しゃりん」の入込客数が大幅に増加し、地域の観光が活性化

《あつみ温泉の入込客数の推移》



《道の駅「しゃりん」の入込客数の推移》



◆地域と行政が連携した取り組みを実施し、高速道の集客効果をフルに活用



▲あつみ温泉IC出口での観光チラシの配布



▲鶴岡市観光連盟による観光キャンペーン

◆観光活性化効果(鶴岡市市議会だより)

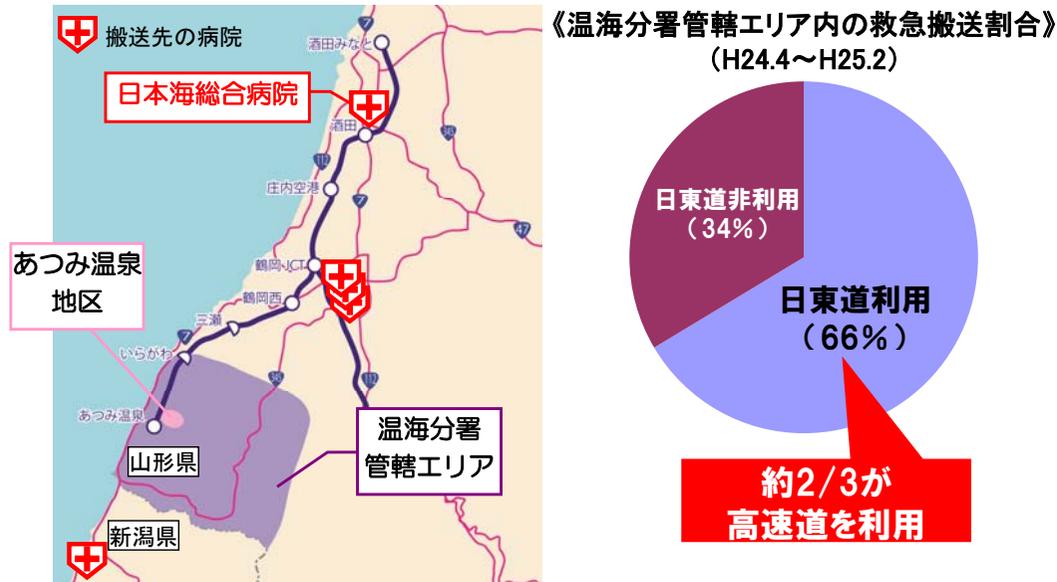
- ・4～7月のあつみ温泉の入込客数は5万9千人と、過去5年間で最大。
- ・道の駅の利用が増え、農林水産業の振興にもつながり、日東道の延伸効果が実感できる。
- ・住民自らが地域をPRし、にぎわいづくりへの機運が高まっており、今後も地域活性化のために、新たな取り組みについて地域と行政が一体となり進めていきたい。



## ②温海地域からの救急搬送が円滑化

### 【救急搬送の支援】

- ◆救急搬送の約2/3が高速道を利用するとともに、あつみ温泉地区から日本海総合病院までの搬送時間が短縮し、患者の負担軽減や、安定した車内処置が可能に



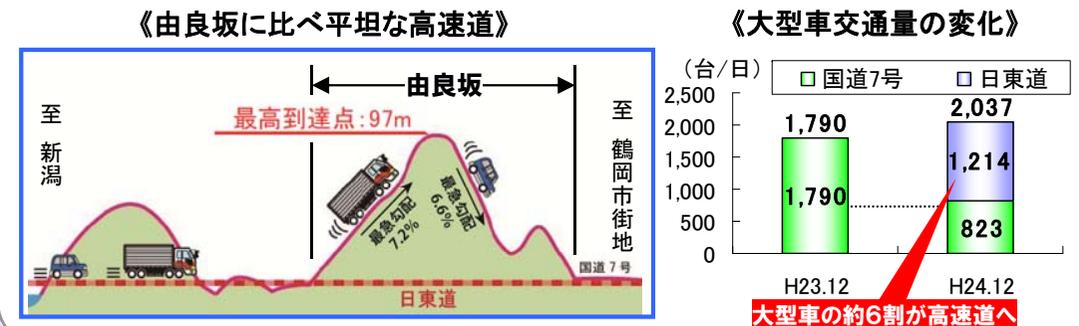
### ◆救急搬送の効果(温海分署ヒアリング調査)

- ・一般道に比べ振動が少なく、患者の負担軽減になった上、搬送時間の短縮にもつながりました。
- ・安定走行が可能となったため、心電図や聴診器等も扱いやすくなりました。

## ③国道7号由良坂の「登坂不能」リスクが軽減

### 【冬期の安全性向上】

- ◆国道7号由良坂では、登坂不能となる大型車により通行規制が発生していたが、大型車が高速道に転換したため、登坂不能リスクが低減



## ④温海～鶴岡間の交通事故が減少

